



TKK 共通シラバス

1. 科目名	災害危機管理				
2. 教員名	三好 勝則		3. 担当大学	工学院大学	
4. 対象学年	3年	5. 開講時期	後期	6. 単位数	2単位

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

災害から生命・身体・財産を守るためには、災害の特徴を知り、対処方法を個人、企業、団体などがあらかじめ考えておくことが重要である。本講義では、これまで災害に対して講じられてきた危機対応を検証し、大学が持つ専門的知識を活用することにより、災害に強い社会システムづくりが実現できることを学び、災害への対処を体得する目標とする。

8. テキスト、参考書、指定図書

テキスト

講義時に配布する資料

参考書

林春男『いのちを守る地震防災学』岩波書店 2,200円

武田文男『日本の災害危機管理』ぎょうせい 5,429円

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前に受講してほしい講義等】

減災学入門

10. 提出課題など

小課題

講義時に適宜出題する。

レポート

自分の住んでいる地域の災害危険度の評価内容と、その要因を分析するとともに、災害時にどのような対応が準備されているかを調査する。

11. 評価基準

小課題への対応とレポート内容を総合的に評価する。

12. 学生へのメッセージ、受講生への要望

13. 参考（ホームページ、オフィスアワー等）

オフィスアワー

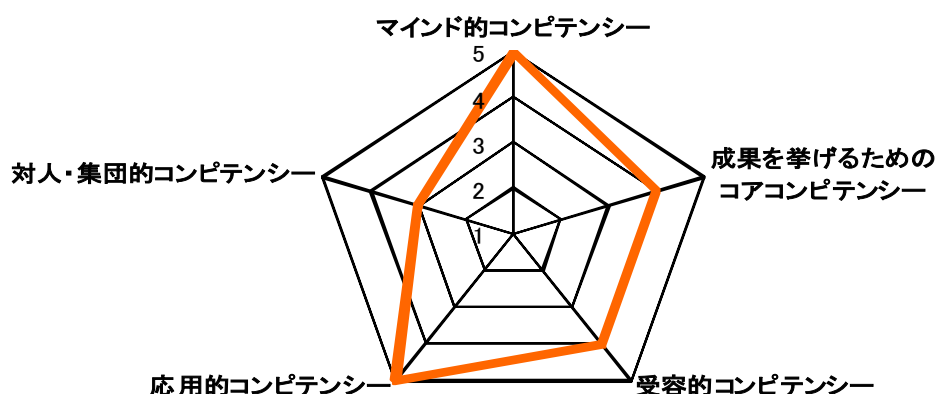
必要な場合は、あらかじめ連絡があれば、時間を設定する。

【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	現代の防災問題、授業計画
第2回	大災害の歴史	我が国における風水害等の特徴と対処
第3回	大規模地震災害	我が国における大規模地震災害の特徴と対処
第4回	災害対応体系	大規模災害に備えた法整備等
第5回	災害対処方針	災害対処の課題と基本方針
第6回	国の行政制度	我が国の行政制度と災害対応
第7回	地方行政制度	地方自治体の行政制度と災害対応
第8回	地域の対応力	災害時における地域の活動
第9回	広域的な体制	災害時における広域的な支援体制整備
第10回	予測と危険回避	災害予測情報と危険回避の方法
第11回	伝承と報道	災害の伝承と災害報道のあり方
第12回	評価と計画	防災力の評価手法と災害対応計画
第13回	経済負担と支援	災害による経済的な負担の規模と支援
第14回	災害からの復興	復旧及び復興の考え方と適用される制度
第15回	学習成果の確認	

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント

本講義では、特に「マインド的コンピテンシー」と「応用的コンピテンシー」の向上を目指す。防災意識や情報活用力、課題形成力の向上に力を入れる。